



Obihiro Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

学園通信

◆2021年(令和3年)9月17日発行

◆Vol.50

故きを温ねて、新しきを知る
〜帯広葵学園のあしあと〜

(平成29年2月5日 十勝毎日新聞)

平成29年の試み…その1

学校法人帯広葵学園

理事長 上野敏郎

帯広葵学園は、平成28年に文部科学省のもとにある「幼稚園」から、内閣府の所管となる「認定こども園」に移行しました。この新制度の背景の一つには、「幼稚園とは一日概ね4時間程度の幼児教育を行うところ」とする従来の制度と親の働き方の実態に大きな隔たりが出てきたことがありました。

そこで、ずいぶん昔から議論されてきた「幼保一元化」を一つの制度として形にしようとなったのですが、幼稚園側と保育園側の考え方にはまだ大きな溝があったのです。そこで、文部科学省でも厚生労働省でもない別の役所の中に「認定こども園制度」は誕生しました。

認定こども園の本来の目的は、0歳から就学前の子ども達を受け入れることにありますが、3歳以下の受け入れ体制が整わない幼稚園には「幼稚園型認定こども園」とする仕組みが準備されました。帯広葵学園はこの方法を選択しました。

ただ、導入の動機は少し違いますが、帯広葵学園では平成2年から未就園児クラス「ばちばちルーム」の運営には力を入れてきています。その設置意図は認定こども園を想定しているものではありませんでしたが、「認定こども園」への移行期をとらえ、更に3歳児以下の受け入れの準備にしっかりと取り組もうと考えたのです。

そこで帯広葵学園は、職員と保護者の声を参考に「ベビータンス教室」を本部の一室を利用して「あおいキッズハウス」の事業として始めることにしました。そのスタートは平成12年でした。

十勝毎日新聞

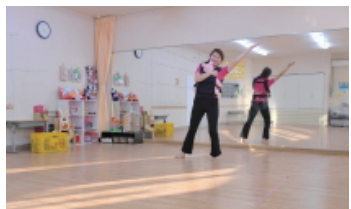
楽しく運動 ベビータンス

「あおいキッズハウス」で教室

学校法人帯広葵学園(上野敏郎理事長)は6日から毎月曜、「あおいキッズハウス」(帯広市西12南17)でベビータンス教室「らっくクラブ」を開催する。十勝管内の法人が同ダンスの教室を開くのは初めて。赤ちゃんにも、ママにとっても、いろんなメリットがあるベビータンスを体験してみよう。(文・丹羽恭太/写真・金野和彦)

ベビータンスは小児科医の監修の下、2007年に考案され、日本ベビータンス協会が普及に取り組んでいる。社交ダンスをベースに、赤ちゃんを抱っこしながら簡単なステップで踊る。親子が密着することで赤ちゃんに安心感をもたらし、寝付きが良くなったりスムーズに卒乳できたりと、さまざまな効果がある。

ママのメリットもたくさんある。抱っこの時間がより楽しくなり、適度な運動は産後のダイエットに。教室でインストラクターを務める渡部友梨さん(24)は「赤ちゃんがいると外出や運動の機会が限られてしまいが、ベビータンスなら赤ちゃんと一緒に楽しい時間が過ごせる。レッスン後にはママ同士のお茶会の時間もあるので、気軽に参加して」と呼び掛ける。対象は首がすわった生後3カ月から1歳半ごろまでの乳児と母親。時間は毎週月曜午前10時15分から1時間程度(変更の場合あり)。参加費は初回1300円、2回目以降1000円。兄弟の託児は初回無料、2回目以降300円。申し込み、問い合わせはあおいキッズハウスへ。



レッスンは約30畳の広々としたスペースで行われる



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022

帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F

TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778

URL <https://www.obihiraaoi.ed.jp/>

帯広の森幼稚園



つつじが丘幼稚園



012 青い鳥保育園



緑陽台認定こども園



柳町保育園



駒場認定こども園



012 おびもり



あおいキッズランド

あおいとり
プラス

東土狩保育所・南中音更保育所・西中音更保育所